

# 第103回 日本選手権 10000m 競技注意事項

## 1 競技規則について

本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

## 2 招集について

- (1) 招集所はマラソンゲート内に設ける。
- (2) 招集時間は、競技開始 25 分前開始、15 分完了とする。

## 3 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは、3枚配布する。(胸・背・手荷物用)
- (2) ナンバーカードとIDカード・プログラムの配布については、次の時間帯にTIC(メイン競技場マラソンゲート付近)で行う。
  - ・18日(土) 10:30 ~ 16:30 (TIC が空いていない場合は大会本部をお尋ねください。)
  - ・19日(日) 8:00 ~ 20:00

## 4 競技場内への入退場について

- (1) IDチェックを受け、マラソンゲートから入場する。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従いミックスゾーンとPECR(ポスト・イベント・コントロール・ルーム)を通り退場する。

## 5 欠場について

- (1) 欠場する者は、本選手権大会規定の「欠場届」(TICにも用意)に必要な事項を記入し、大阪陸上競技協会へFAXで届けること。大会当日19日はTICへ届けること。  
※大阪陸上競技協会 TEL.06-6697-8899 FAX.06-6697-8766

## 6 表彰について

- (1) 男女共に1位から3位の競技者の表彰は、競技終了後に正面スタンド前で行う。
- (2) 1位の競技者には、カップと賞状とメダルを、2位・3位の競技者には賞状とメダルを授与する。  
4位から8位の競技者には賞状を授与する。
- (3) 4位から8位までに入賞した競技者はTICで賞状を受け取ること。

## 7 ドーピングコントロールテストについて

### (1) ドーピングコントロール

国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規定、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。尚、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

### (2) TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ(<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。

### (3) 18歳未満の競技者の親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

世界アンチ・ドーピング規程、同国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程により、18歳未満の競技者が

競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得することが必要となる。

- ① 本大会に参加する18歳未満の競技者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書は<http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf>からダウンロード出来る。
- ② 18歳未満の競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR(陸連医事代表)に提出すること。提出は未成年時に1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事をNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。

## 8 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に示すサイズ・個数を超えてはならない。これに違反したものについては主催者で処置する。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (3) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (4) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
- (5) 「記録証明書」を希望する競技者は、TICに申し込むこと。
- (6) スタンドを含む競技場内での応援用のぼり・旗等の固定は禁止する。
- (7) 競技者及びコーチには、受付時に大会主催者申し合わせ事項により、IDカードが渡される。コーチIDカードについては、参加者1名から2名は2枚、3名から4名は3枚、5名以上は4枚とする。IDカード使用者は、場内を移動する場合は必ずIDカードが確認できるよう携帯する。
- (8) 荒天により競技を一時中断もしくは延期することがある。

## 9 練習会場の使用について

- (1) 練習及び選手待機所はヤンマーフィールド長居(補助競技場)を利用できる。
- (2) 練習は、各個人が指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は問わない。
- (3) 荷物などは、個人が責任を持ち管理する。
- (4) 会場内への入退場は、必ずIDカードを明示する。また、コーチは会場において、常にIDカードが確認できるように携帯する。
- (5) 19日(日)はセイコーゴールデングランプリに出場する選手と同様にウォーミングアップを行うことができる。セイコーゴールデングランプリ終了後も補助競技場でウォーミングアップを行える。
- (6) ヤンマーフィールド長居の開放時間は下記の通りとする。
  - ・17日(金) 10:30 ~ 16:30
  - ・18日(土) 10:30 ~ 17:30(18時までに退場してください)
  - ・19日(日) 8:00 ~ 21:45 ※競技終了後21:45までには補助競技場から退場してください。